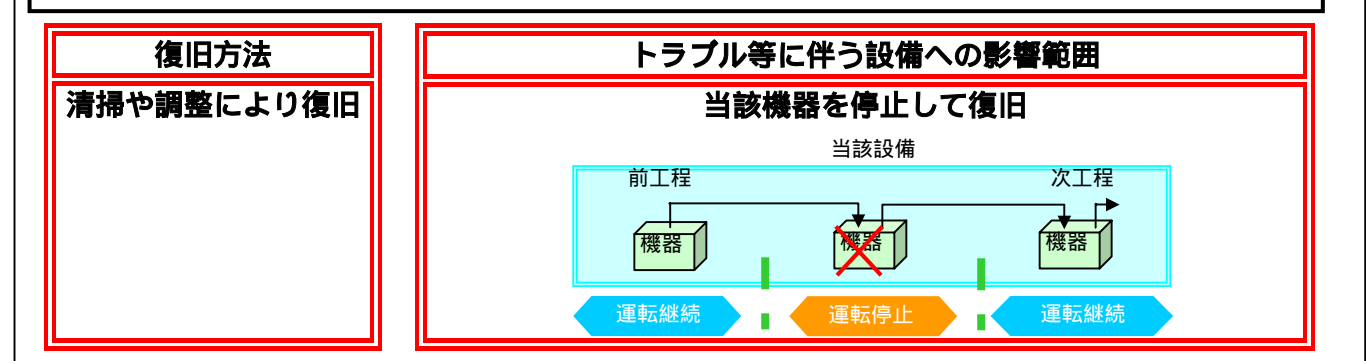
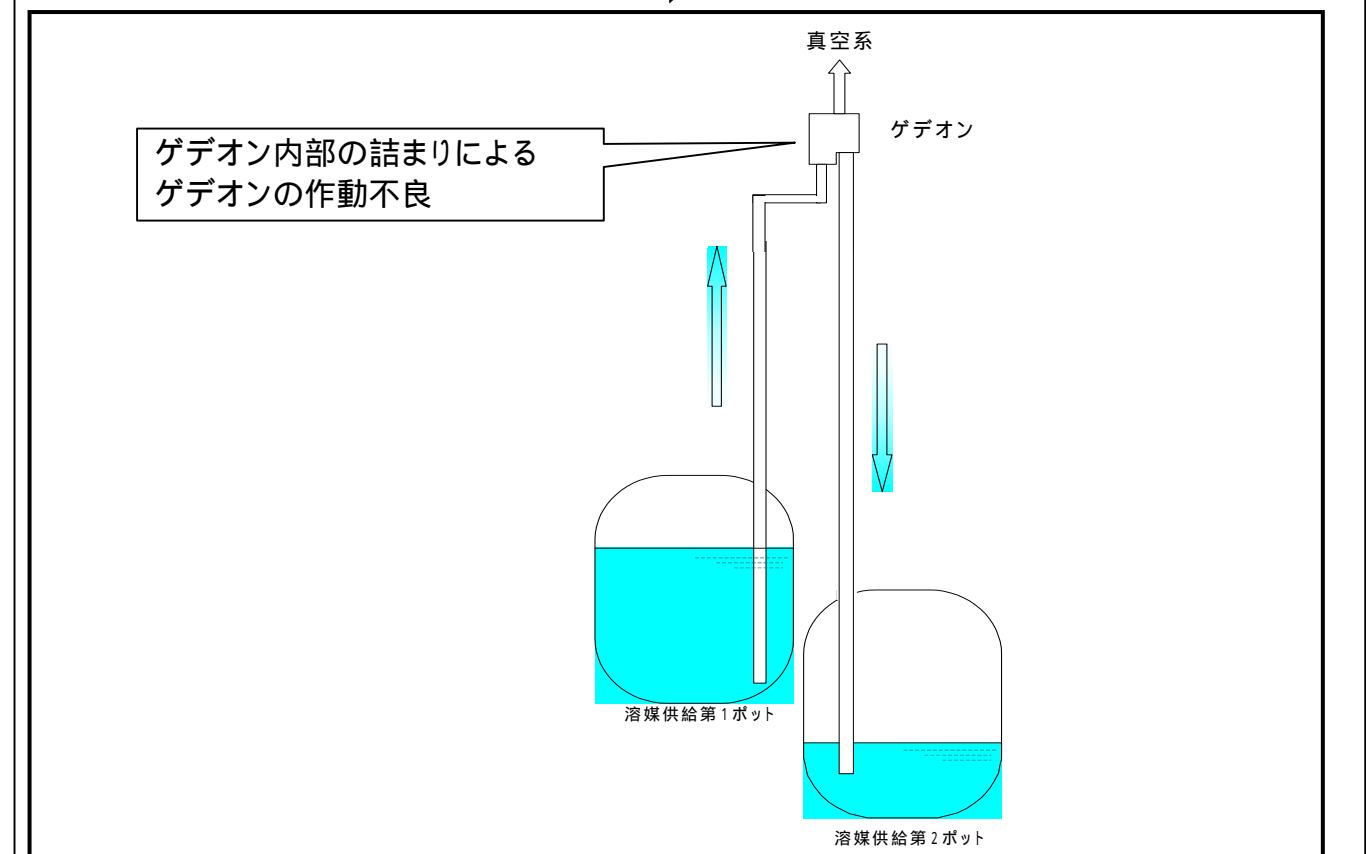
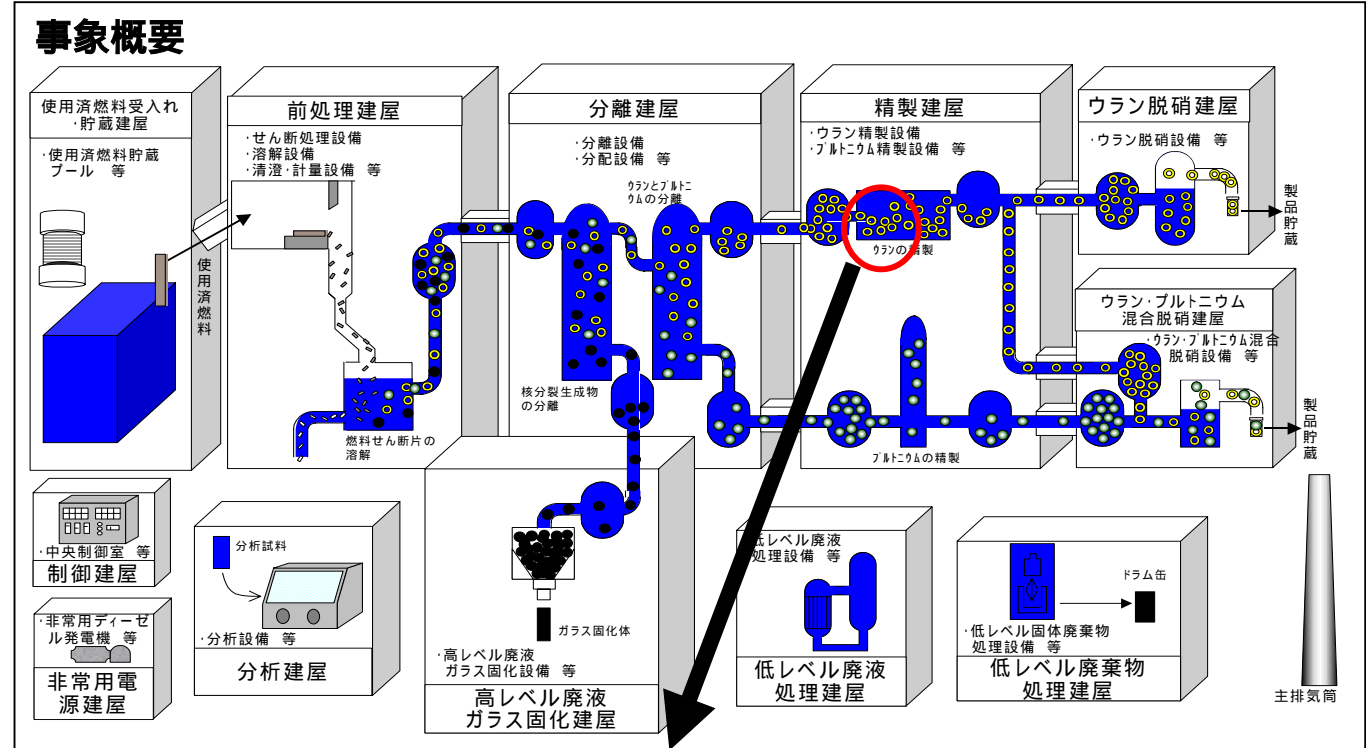


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応 (No.1-24)

件名	溶媒供給第1ポットのゲデオンにおける詰まり																		
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 溶媒回収設備</p> <p>(2) 設備の概要 ウランやプルトニウムの精製に用いた溶媒を再利用するため、蒸留等の処理を行う設備。</p> <p>(3) 発生の状況 溶媒処理系の運転中</p> <p>(4) 概要 ゲデオン内部の異物等の詰まりによるゲデオンの作動不良。 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>(5) 原因 運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>																		
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する精製建屋の塔槽類廃ガス処理設備が稼働している溶媒処理系内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 ゲデオン流量異常により、ゲデオンにより溶液の供給を受ける後の工程は、流量変化などの影響を受けるが、一時的に運転を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 ゲデオンの作動不良の復旧作業は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 当該ゲデオンの詰まりによる異常は、ゲデオンの運転を停止して洗浄を行って、復旧させることで他工程への影響は生じない。</p>																		
対応の概要	<p>(1) ゲデオン内部及び周辺配管に詰まりがないかを確認する。</p> <p>(2) 真空调節弁、オリフィス及び配管を点検、調整する。硝酸による洗浄、除染が必要な場合は、定められた保守作業手順に従って対応する。</p> <p>(3) ゲデオン流量制御系の作動確認を行い、所定の流量制御が可能であることを確認した後、定められた操作手順に従って運転を再開させる。</p>																		
公表区分*1	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																		
情報区分*1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> <th>不適合等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等						
トラブル情報			運転情報																
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等														



*1 'A情報':安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、'B情報':事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、'C情報':A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象 2006.02.15